

団体名	プレーパーク館山
エリア	館山とその周辺 安房地域
事業・活動名	プレーパーク館山
事業内容	プレーパーク 月に1回、館山市内里山にてプレーパークを開催 不定期に安房地域のイベントにて出張プレーパークを開催
助成金の使途	プレーワーカー出張依頼料、旅費交通費、消耗品費、印刷製本費、スタッフ活動費
訪問レポート	<p>12/7 出張プレーパークの取材で大房岬自然公園へ行ってきました！</p> <p>この日は月に1回、館山市内里山にて開催されているプレーパークではなく、出張プレーパークとして、南房総国定公園の中にある大房岬自然公園で、平日は一般社団法人 森のようちえん はっぴーが野外保育のフィールドとしている森の広場で開催していました。</p> <p>今年度は不定期に出張プレーパークも開き、周知に広がりを見せているとのこと。</p> <p>そこへ、特別ゲストとしてプレーワーカーで、2022年度にエッコロ福祉助成団体として訪問した NPO 法人プレイフルエンタープライズわかば代表理事でもある相澤 孝紀さん(通称: めがねさん)をお呼びし開催されていました。</p> <p>この日の参加者は親子15組前後、緑に囲まれた広場で持ち寄った段ボールで秘密基地を作っている子もいれば、土に穴を掘って虫を探している子、ビーズや植物のツルでリースを作っている子と思いに遊んでいました。</p>



開催時間は約6時間、参加者の制限はなく、親の経済格差による子ども体験の格差を生まないよう参加費無料で開催。子どもが自由に遊べる場を作る専門職であるプレーワーカーが毎月開催時間内は常駐している状態を作るため、プレーワーカーの派遣を依頼し、今年度助成したプレーワーカーの出張依頼料を活用して運営が行われていました。

代表スタッフを始め、運営をしているスタッフのお子さんは女の子で、男の子の遊び方を知らなかったが、今年度はプレーワーカーの相澤さんに来ていただき、遊びの幅が増え、小学生の男の子たちはファンとなり、「今日めがねさんは？」と楽しみに参加するようになったとのことでした。また、相澤さんはプレーパークで出張し、プレーパークに設置するロープや工具なども持って来てくれたりするので、出張プレーパークに運営側が色々もっていかなくても大丈夫で助かっているとのこと。そして、物の配置や声掛け、けんかの仲裁など…プレーワーカーとして学ぶことも多いとのこと、プレーパークの後には振り返りをして学びの機会としても役立てていました。相澤さんからもプレーパークへの助成は少ないので、生活クラブのエッコロ福祉助成の支援金がありたく、僕もお手伝いできていますとおっしゃっていました。

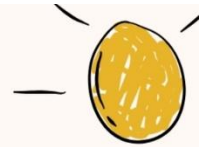
また、より多くの家庭に開催の情報を届けるために、3カ月に一度開催日や開催内容を記したチラシの印刷製本費としても活用され、市役所のこども福祉課や子育て支援センターなどに配布し周知されていました。公立の学校、館山市にメールでの配信やインスタにて広報。安房高校の先生ともつながっていて中高生のボランティアも協力してくれているとのこと。この日も高校生の女の子が小さい子たちの面倒を見ていました。また、地域の60～70代の方が読み聞かせのボランティアにも入り、地域での広がりも見せているとのこと。それから、子どもの遊びを広げるために、木材を加工する工具や絵の具、火おこし用のマッチなどを用意し、自由に挑戦できる場を作りたいと助成金の一部も活用されました。ここに来て誰もが安心して、それぞれ遊べるように持ち寄りや主体性も大切にしながら、様々な年代の人が集い、多様性を大切にするプレーパークが若者にとって居心地のいい場であり、安心できる環境の中で、自分のペースで人と出会い交流し、実体験を積んでいける地域の居場所であることを目指し活動されていて、今後も広まってほしいと思いました。

たすけあい委員 浦上 恵





Q & A



Q.参加するのにお金はかかりますか？
 A. いいえ、参加は無料です！
 出入りも自由なので気軽に遊びにきてください♪
 Q.お昼ご飯はどうしたらいいですか？
 A.お昼ご飯は持ってきてOKです！
 その場で一緒に作ったり、分け合ったりすることもできます。
 食べたい時に食べたい形でOKです！
 Q.どんな服装で行けばいいですか？
 A.たくさん遊んで汚れるので、動きやすい服装で着替えが必須！着替えがあると心穏やかに見守れます。(おとなの着替えもあると安心)
 Q.赤ちゃんも参加できますか？
 A.もちろん大歓迎！0歳～何歳でも参加OK！泣いても寝てもそのまま大丈夫な場所です。

プレーパーク館山の想い

わが子のありのままを、「大丈夫だよ」と受け止めてもらえる場所を作りたい。そんな願いから、この場所は生まれました。
 子どもが自由に遊び感じたことを安心して表現できること。そして大人が少し力を抜いて見守れること。「一人で抱え込まなくていい」「正解を探さなくていい」
 親同士が安心して見守り合える。あたたかな関係性をここから育てていきたい。そんな繋がりが広がった先に子どもも大人も「自分でいい」と当たり前に見える未来があると信じています。

わたし達が運営しています♪



こよみ



かおる

HELP

ご協力してもらえるとありがたいこと

- ・友達を誘う
- ・遊びに来て共に作る
- ・SNSでシェアする
- ・準備や片付けを手伝う
- ・カンパをする
- ・歌を歌ったり読み聞かせ
- ・遊びの材料を寄付する



冒険遊び場

PLAYPARK TATEYAMA

プレーパークたてやま



千葉県館山市山本822 (私有竹林)
 駐車場 館山市山本690-2 テニスコート横

開催日等の詳細はこちら↓

tateyama_playpark

LINE プレーパーク館山



プレパ館山みらいサポーター

子どもたちの自由な遊び場をみんなで支えるサポーター制度です。
 子どもが自由に遊べると、大人も少し力が抜けるその安心がゆっくり地域に広がっていく。
 この場所を大切に繋いでいくために仲間を募っています。
 この場所と一緒に育てる (QR) ⇒ (月額で応援する仕組みです)



プレーパークってどんなところ？



汚れるなんて気にしない日♪

土や火、水、木や竹などの自然素材 道具や工具など、今そこにあるものを使って自由な発想で作り変えられる遊び場です。
 ここでは、子どもたちの「やってみよう！」気持ちを大切にしているため遊びを制限する禁止事項などを少なくしています。
 おとなが先回りせずできるだけ手や口を出さずに見守ることで子ども達が自分で決めたり危険を判断できるようにしています



食べたいものをかまどで作ったり竹で道具を作ったり↓



あーでもないこーでもないこの時間が宝物



どろんこデビューも のんびり自分のペースで

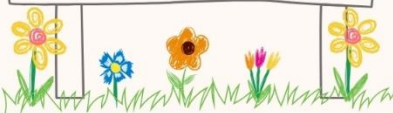
遊び場作りの専門家 プレーワーカーがいるよ！

- ・遊び場の環境整備、安全点検
- ・子どもの主体的な遊びの見守り
- ・緊急時の対応とトラブルケア
- ・遊びの可能性を広げる
- ・親や地域の方とコミュニケーションをとる



合言葉

自分の責任で自由に遊ぶ
ケガと弁当は自分持ち



LET'S PLAY TOGETHER

